

「水無川でひろって体験！砥石作り」

朝から強い日差しが照りつけていましたが、雲や風からは秋の気配も感じられました。今回は丹沢で生まれ、昔から地元で使われてきた砥石「戸川砥」の保存・普及に携わっている藤本節男氏を講師に丹沢の生い立ちや人々と砥石の関わりを学び、砥石探しや使い方などの体験も行いました。



午前中前半は、室内で藤本節男さんから、丹沢や砥石のお話を聞きます。



砥石を探しに水無川へ向かいます。暑いけれど空が高く爽やかです。



砥石を探す前に、特徴や見分け方などの説明を受けます。



「これ、砥石かな？」見分け方は？他の石とこすってみよう！



水無川の上流で生まれ、流れついた砥石。角がとれ丸くなっています。



上流に移動しながら、砥石や他の岩石を探します。



午後からは戸川砥を使って藤本さん考案「刃みがきくん」作り。柄や砥石をやすりで磨きます。



磨き終わったら「はだのとかわとみみがきくん」の焼印を押してもらいます。



たのもしい助っ人、門田先生と中村さんから戸川砥になった石の解説がありました。



完成した刃みがきくんで、鉄の板を磨きました。

参加者アンケートより

- ・講義だけでなく外で石をひろったり、先生に自然と質問できる機会があって良かったです。
- ・丹沢の成り立ちについて知ることが出来たためになった。砥石作りが楽しかった。
- ・いつも遊んでいる川に砥石があることを初めて知りました。
- ・戸川砥は使いやすい。砥石がもっと好きになったので、いろいろな自然教室に参加したい。
- ・さいごに、てつをみがいたのがおもしろかったです。と石は、川でとれると言うことがべんきょうになりました。